

## 第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等

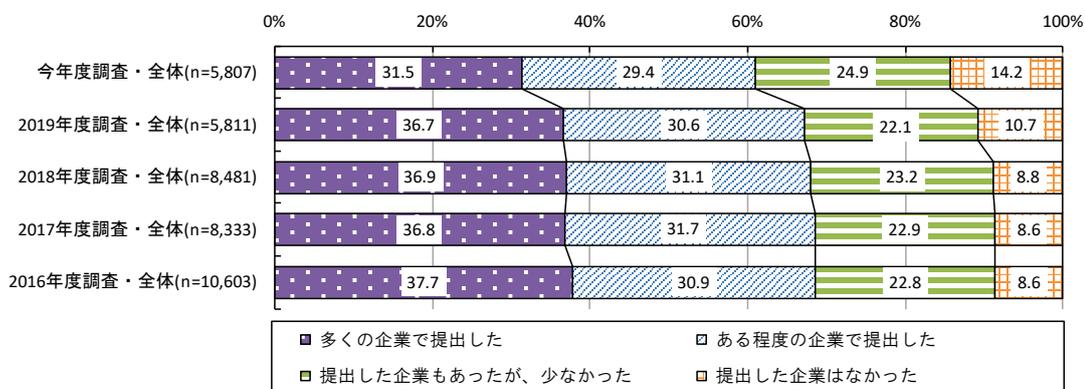
### (1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況

#### ① 提出の状況

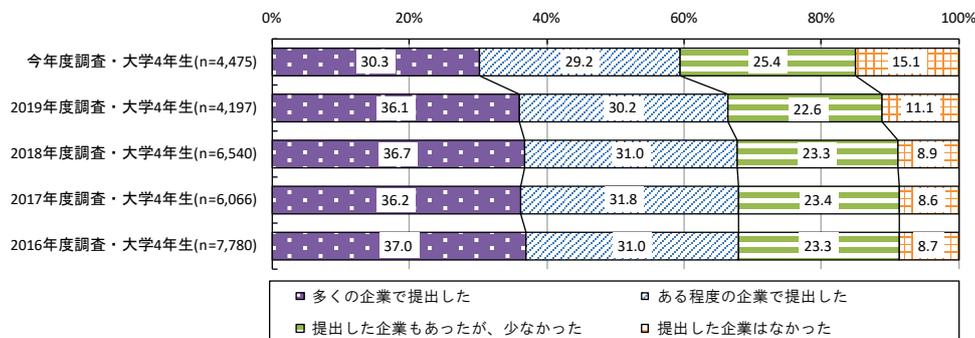
就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると「多くの企業で提出した」の回答割合が低くなっており、「提出した企業もあったが、少なかった」「提出した企業はなかった」の回答割合が高くなっている<sup>78</sup>。

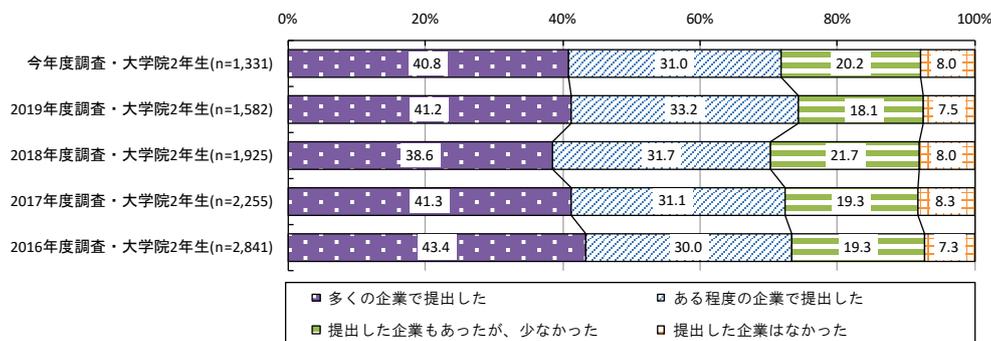
図表 4-1-1 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



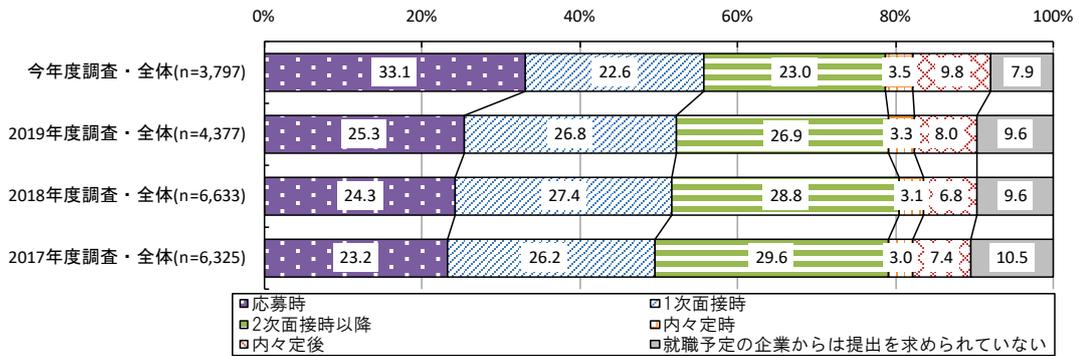
<sup>78</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②提出のタイミング

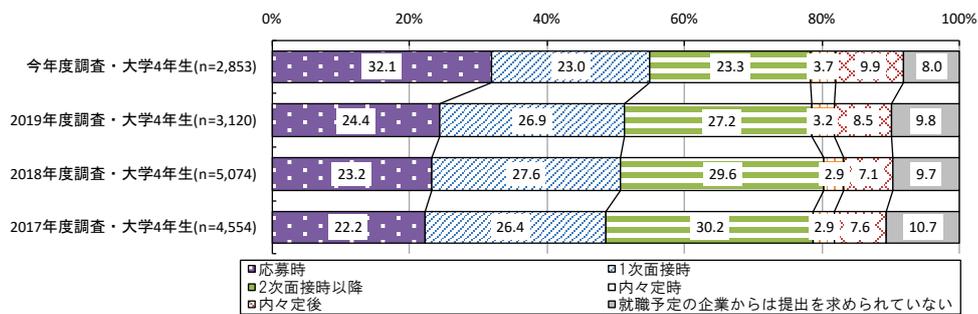
就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「応募時」の回答割合が約3割で最も高く、次いで「2次面接時以降」の回答割合が約2割となっている。

2017年度調査～2019年度調査と比べると、「応募時」の回答割合が高くなっている<sup>79</sup>。

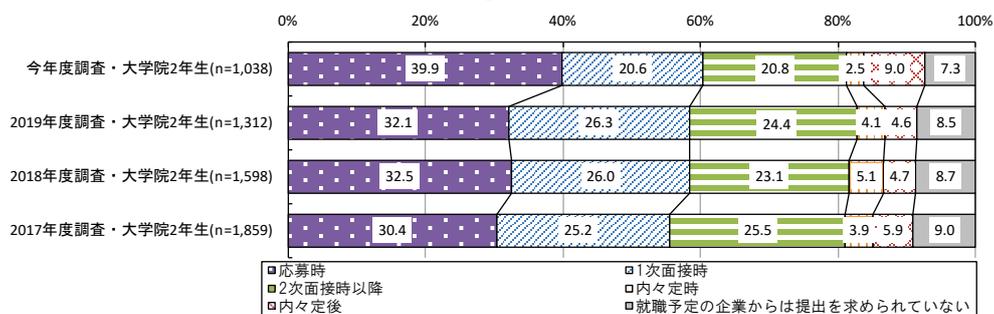
図表 4-1-2 就職予定の企業への履修履歴（成績証明書など）の提出のタイミング  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



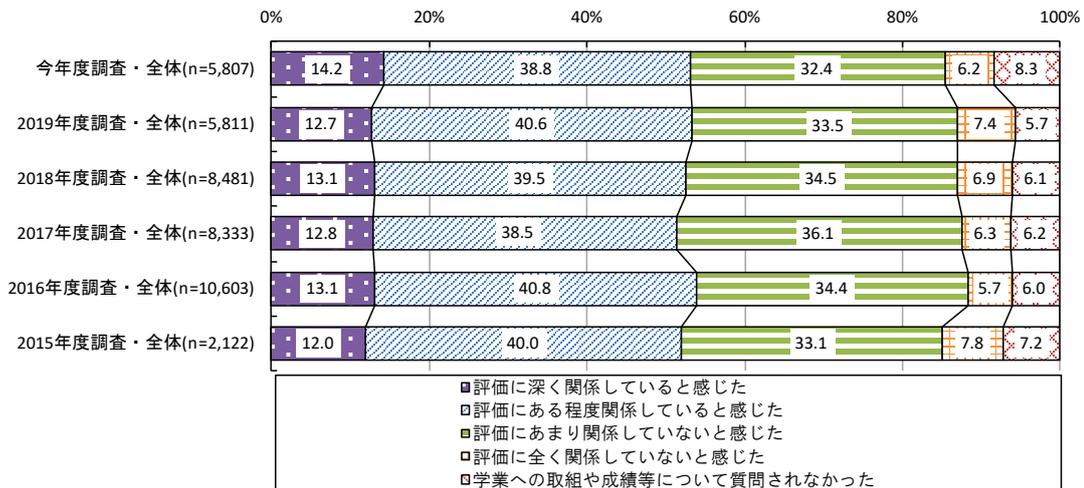
<sup>79</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

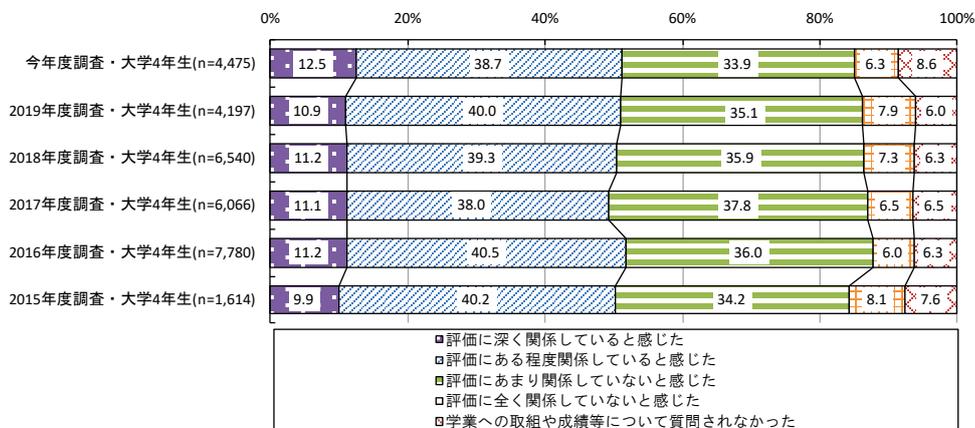
採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

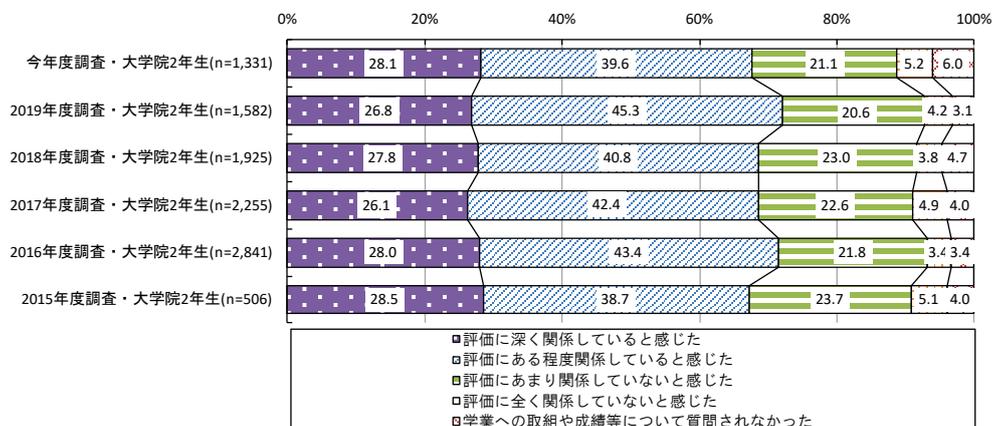
図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



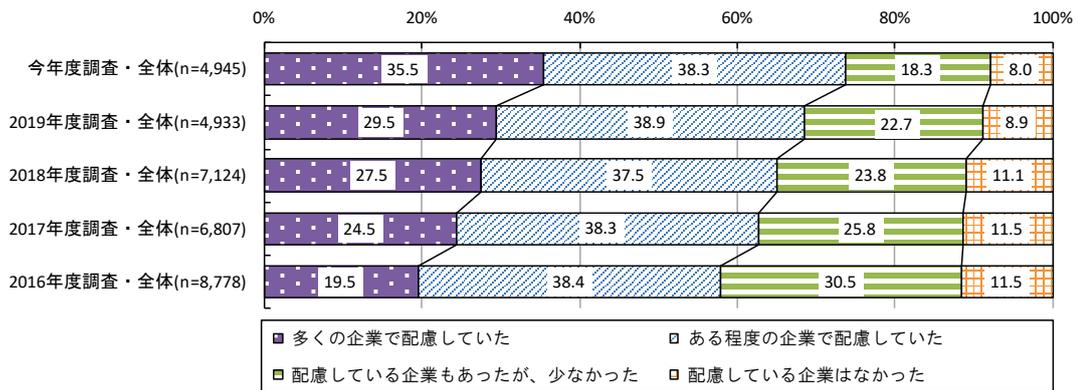
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

#### ①説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

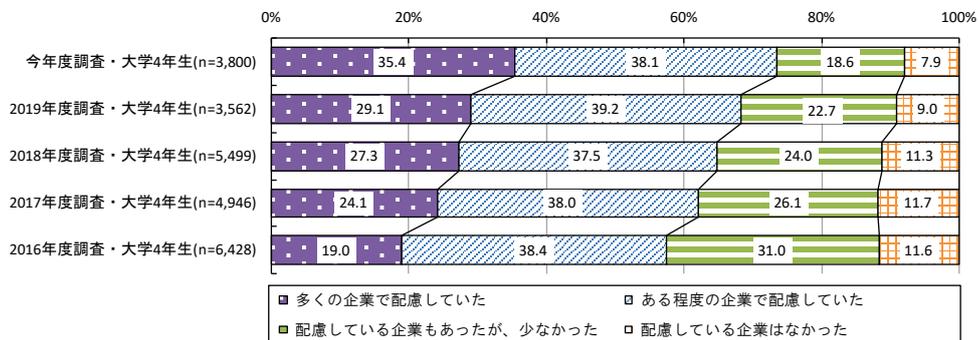
就職活動を行った企業において説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>80</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が約4割と高くなっている<sup>81</sup>。

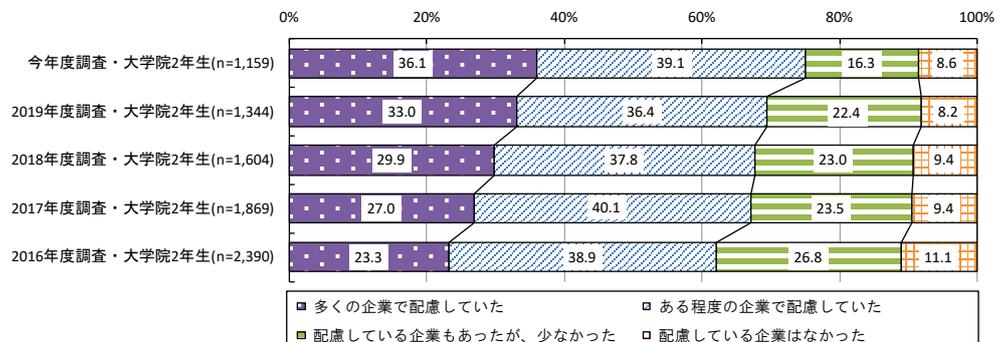
図表 4-3-1 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>80</sup> 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

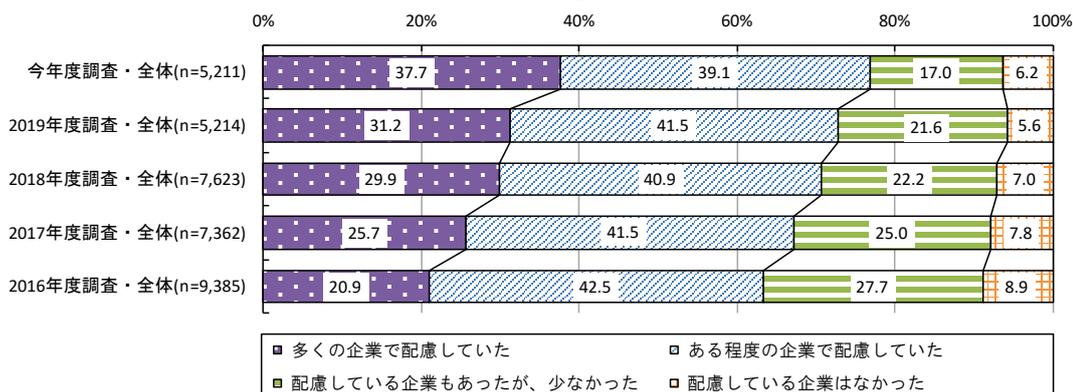
<sup>81</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②個別の面接日時等の設定にあたっての配慮

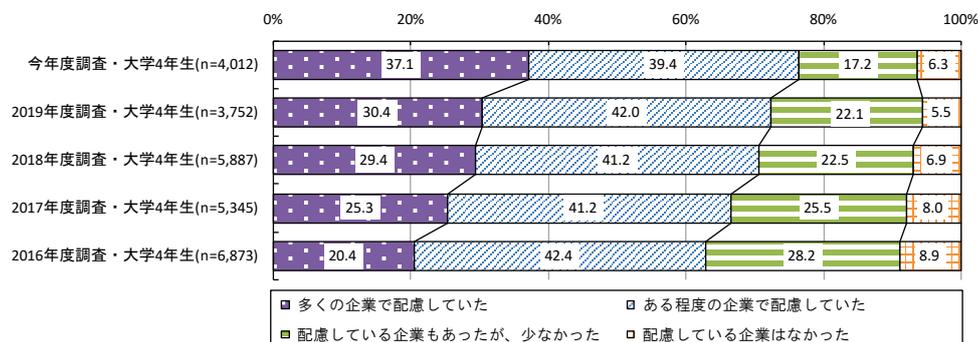
就職活動を行った企業において個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>82</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている<sup>83</sup>。

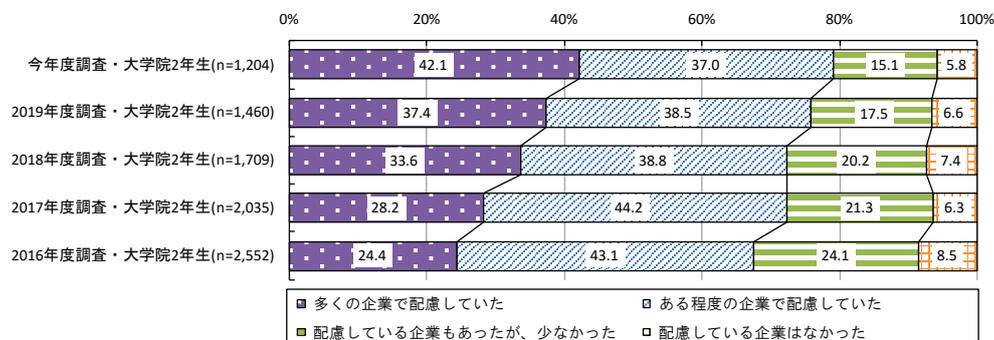
図表 4-3-2 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>82</sup> 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

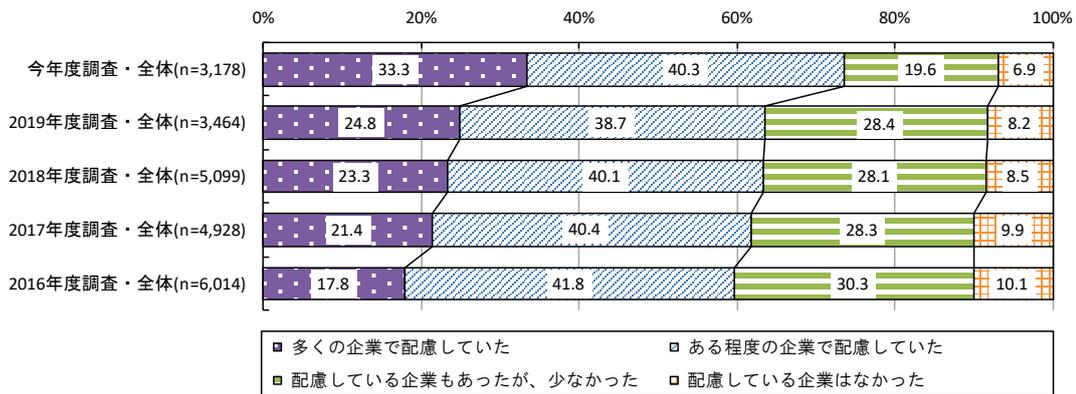
<sup>83</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

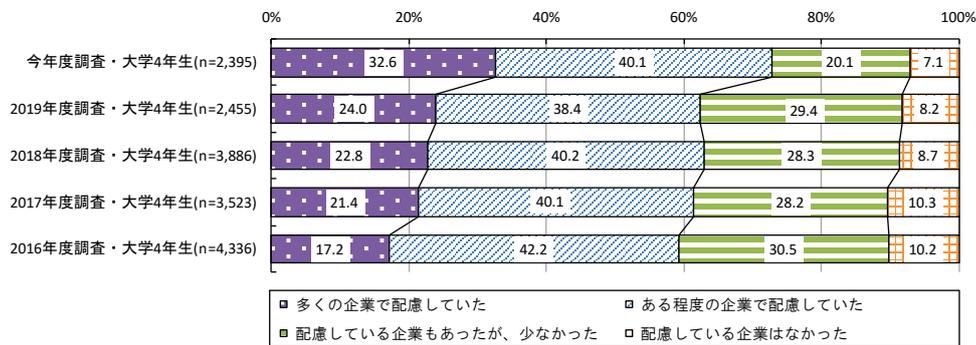
地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>84</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査は「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている<sup>85</sup>。

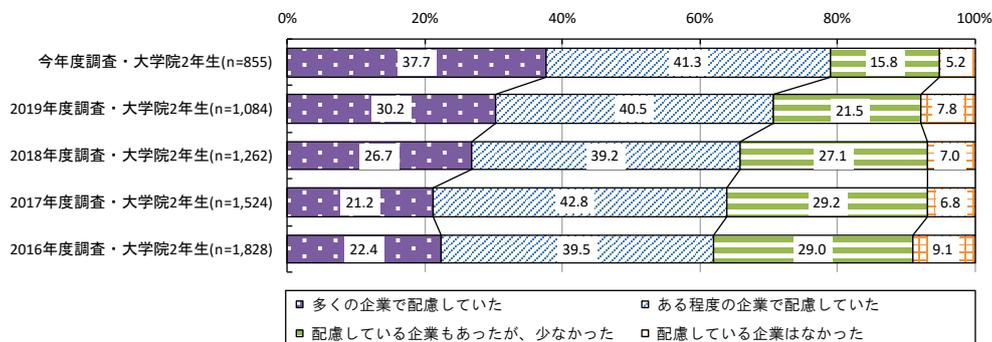
図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>84</sup> 「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

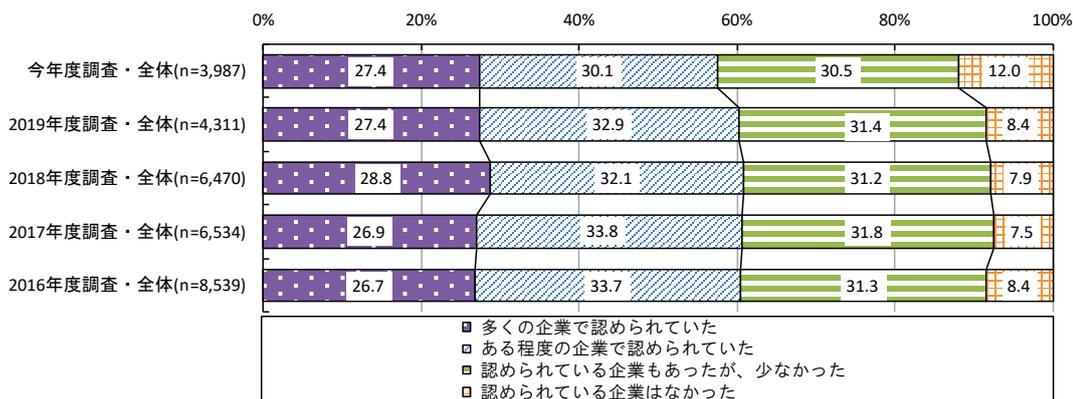
<sup>85</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) クールビズでの対応

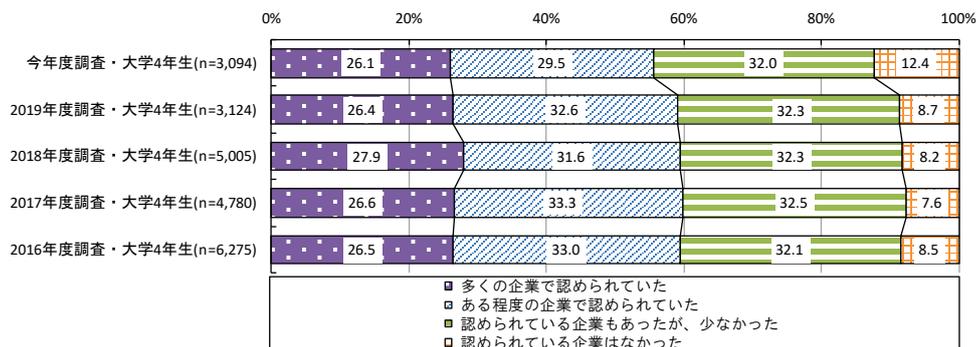
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと<sup>86</sup>、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

これは、2016年度調査～2019年度調査とほぼ同様の結果となっている<sup>87</sup>。

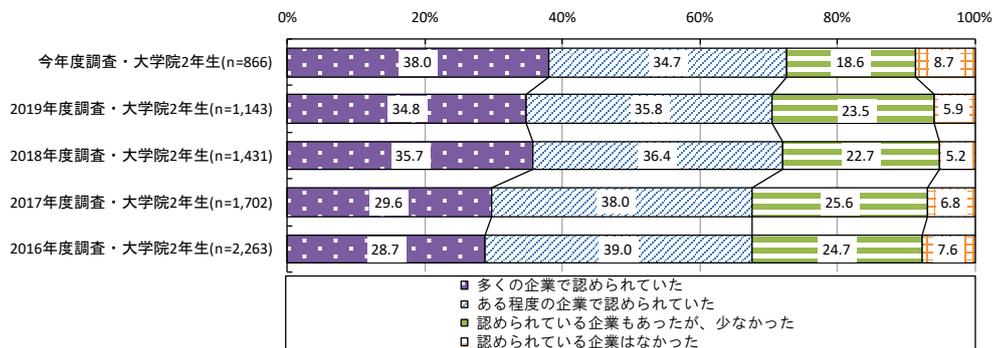
図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>86</sup> 「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問に対して、「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>87</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

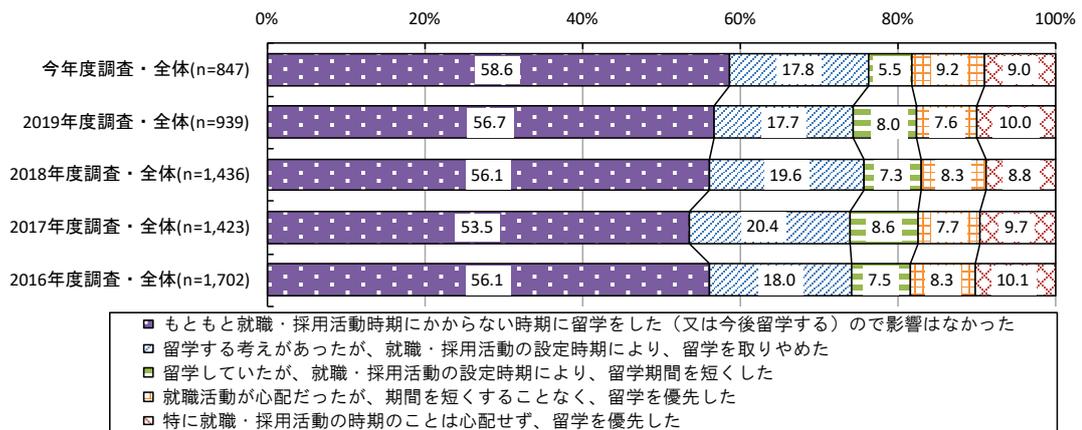
## (6) 留学経験者への配慮

### ① 留学経験者及び留学を検討していた者の状況

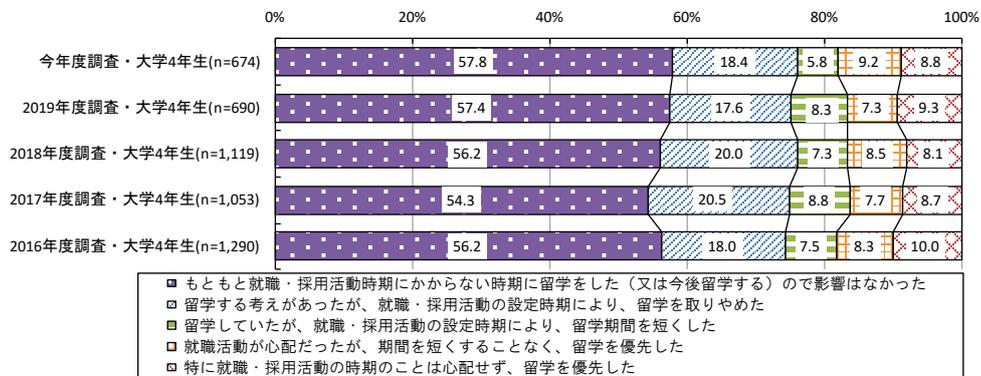
就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち<sup>88</sup>、約6割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響はなかった」と回答している。一方、約2割が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

これは、2016年度調査～2019年度調査とほぼ同様の結果となっている<sup>89</sup>。

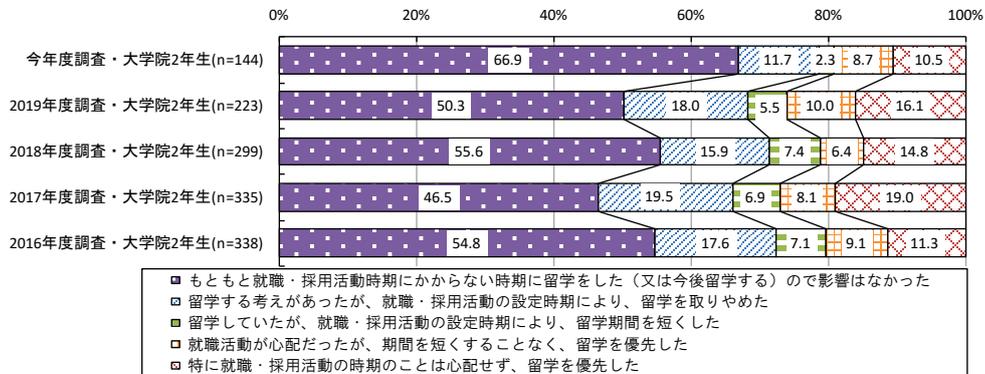
図表 4-6-1 留学経験者及び留学を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>88</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問に対して、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

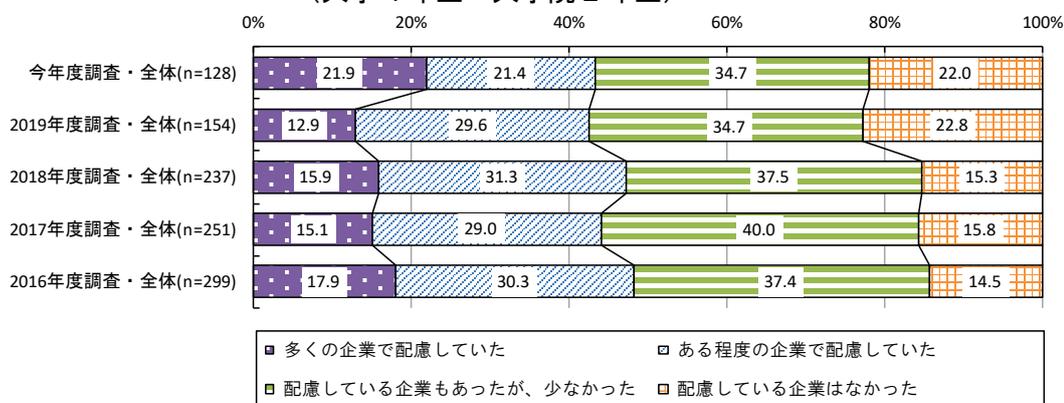
<sup>89</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

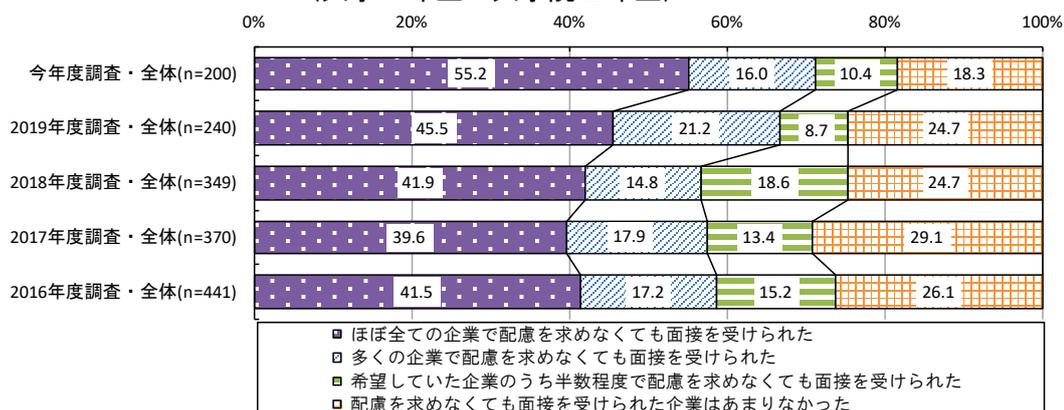
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者<sup>90</sup>に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>91</sup>、約4割が「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」と回答している<sup>92</sup>。この割合は2019年度調査と同様であるが、特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、または留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答割合が約6割となっている。この割合は、過年度調査と比較して高くなっている。

図表 4-6-2 留学経験者に対する企業側の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-6-3 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>90</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>91</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>92</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

### ③配慮を求めた際の対応等

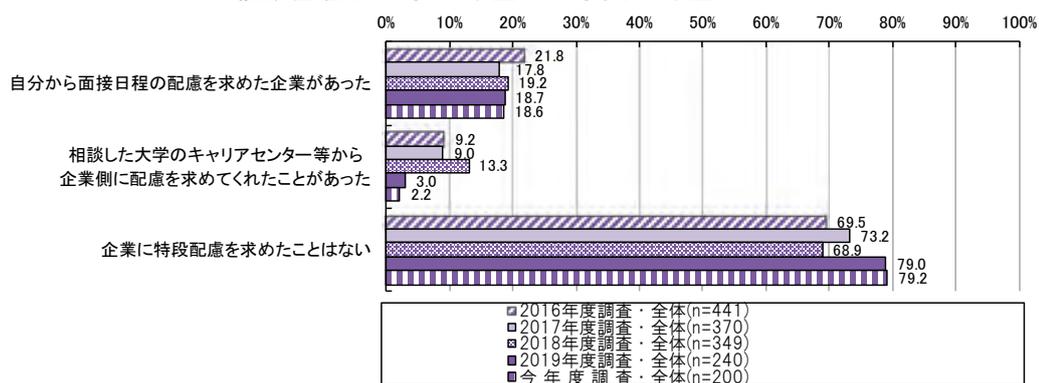
留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約 2 割となっており、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答は 1 割未満となっている<sup>93</sup>。

自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況について<sup>94</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合は合わせて約 6 割となっている。

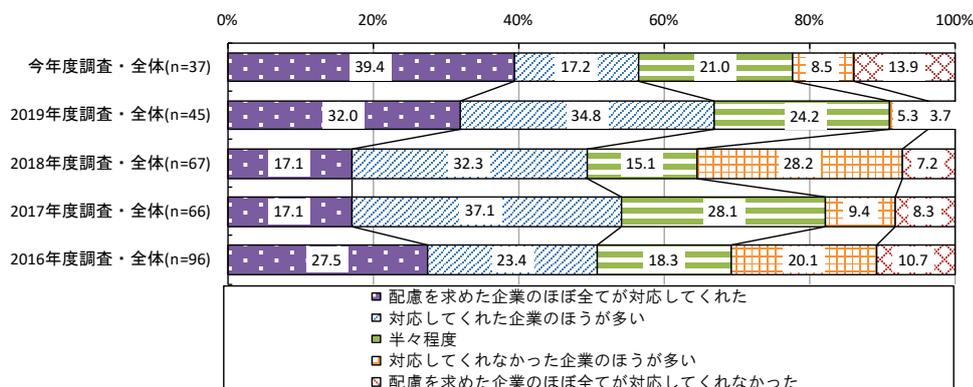
2016 年度調査～2019 年度調査と比較すると、今年度では 2019 年度よりこの割合が低くなっている一方、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれなかった」の回答割合が過年度調査よりも高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答割合を合わせると約 2 割となっている。

図表 4-6-4 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか  
(複数回答、大学 4 年生・大学院 2 年生)



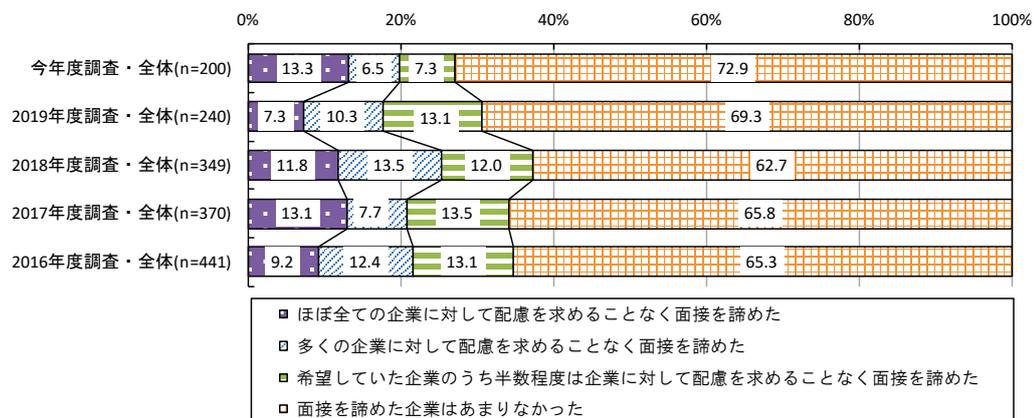
図表 4-6-5 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応 (自分から配慮を求めた場合)  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



<sup>93</sup> 留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する設問について、2015 年度調査では実施していない。

<sup>94</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-6-6 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



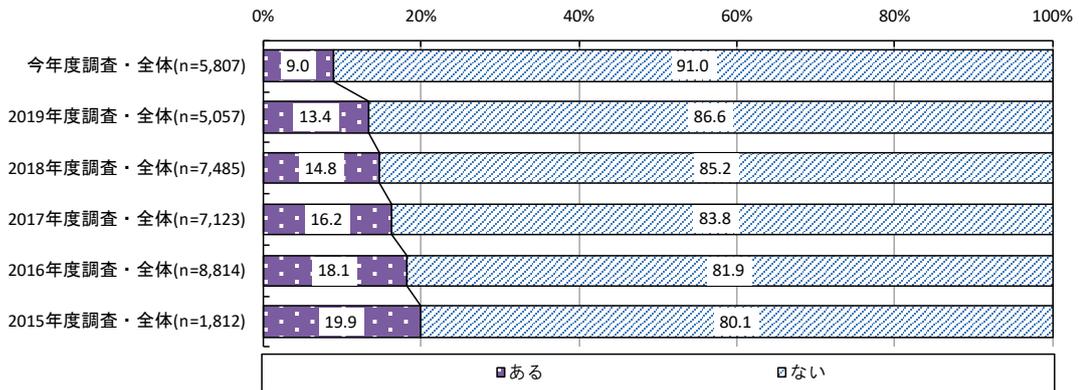
## (7) 「オワハラ」の状況

### ① 「オワハラ」の有無

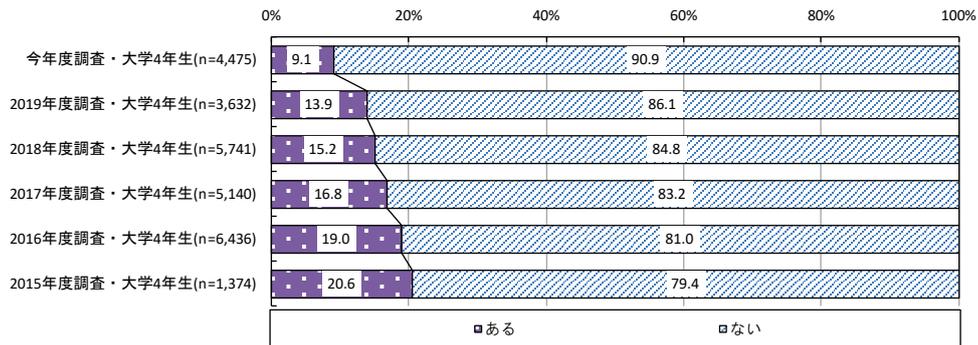
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（「オワハラ」）を受けたことがあるかについて<sup>95</sup>、約1割の者が「ある」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が低くなっている。

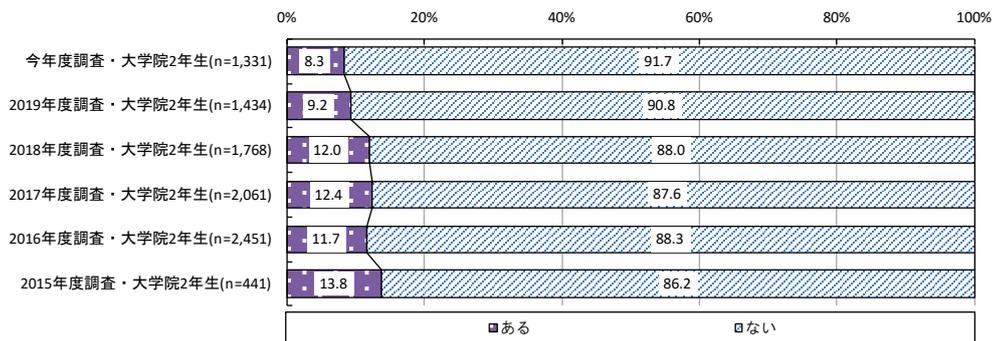
図表 4-7-1 企業から「オワハラ」を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

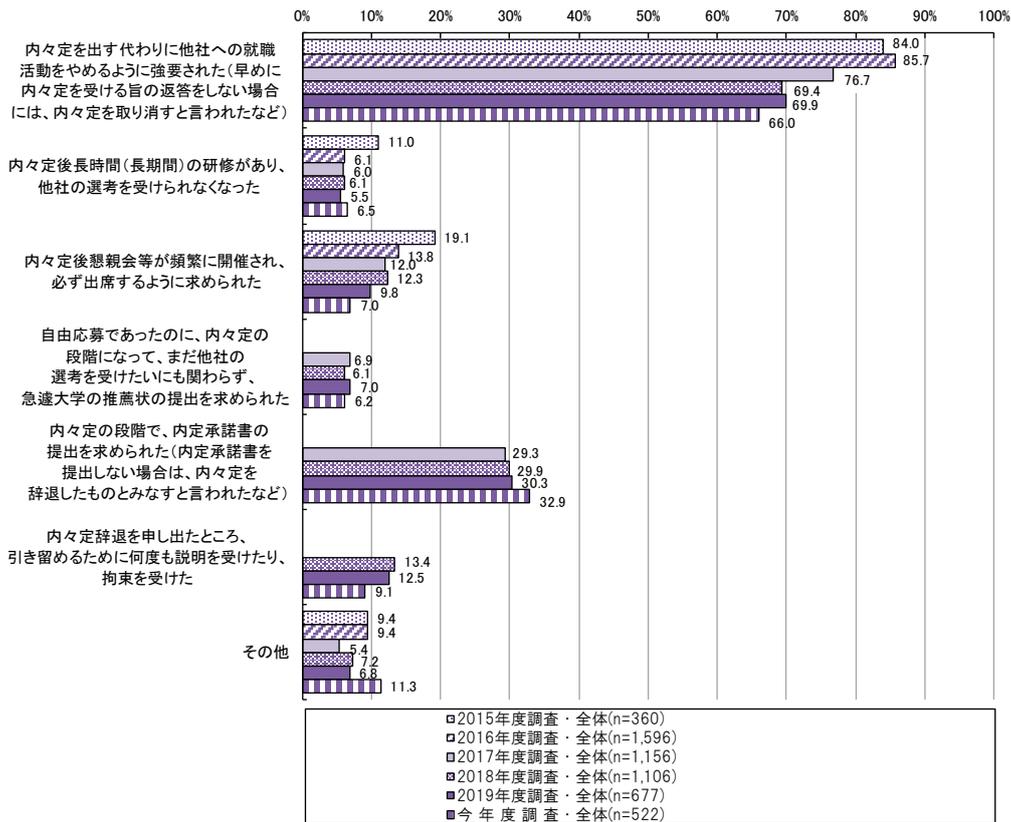


<sup>95</sup> 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

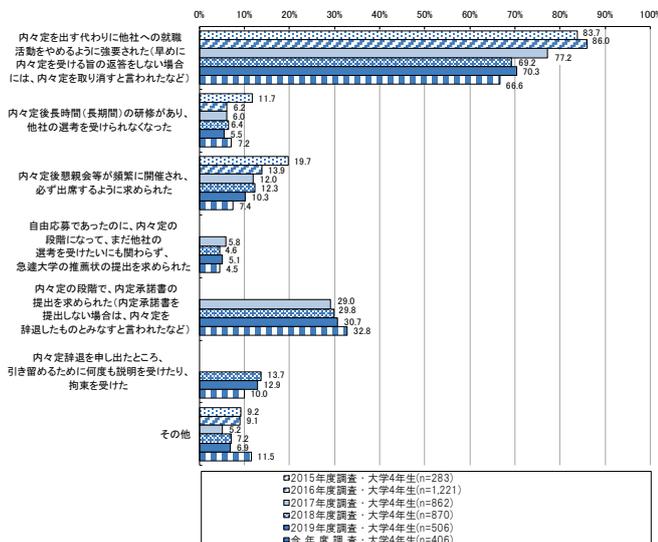
## ②「オワハラ」の内容

企業等から、「オワハラ」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）<sup>96</sup>」の回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約3割となっている。

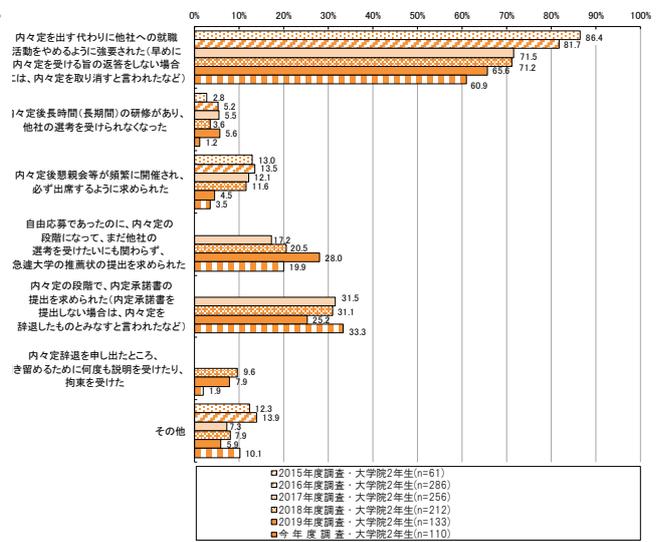
図表 4-7-2 「オワハラ」の内容（複数回答）  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



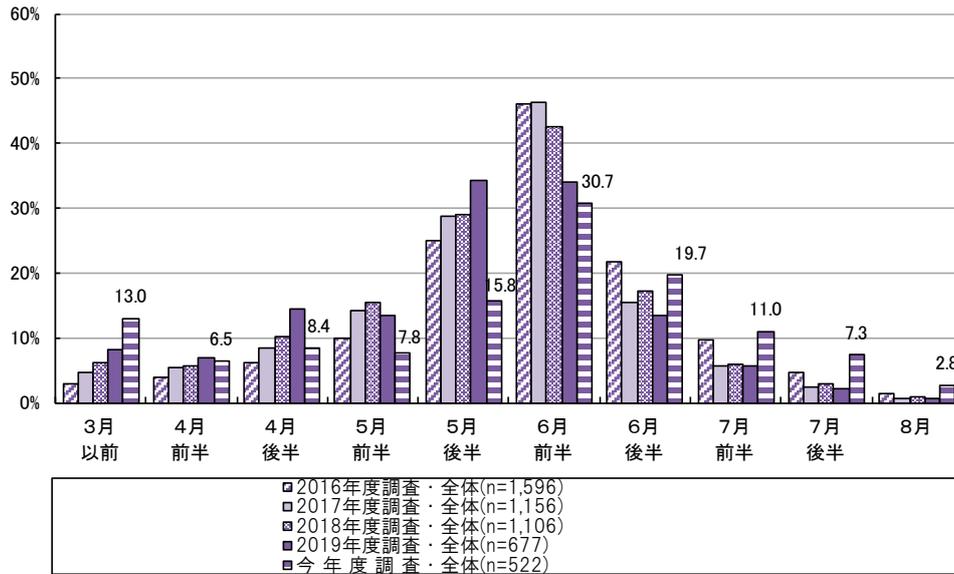
<sup>96</sup> 2018年度調査以前は、「早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど」の例示はせず単に「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の項目で調査を実施している。

### ③ 「オワハラ」があった時期

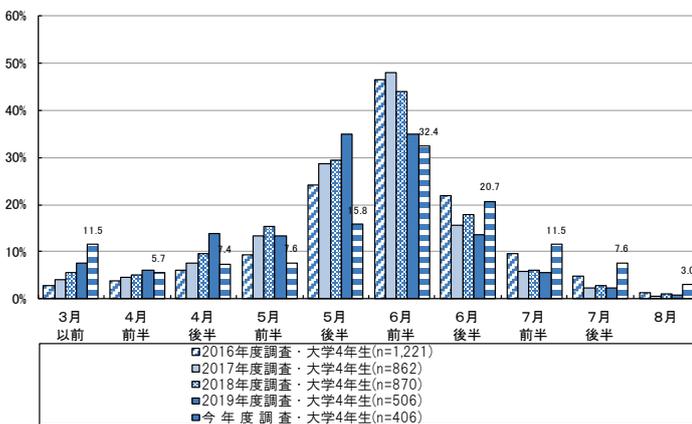
「オワハラ」を受けた時期について、「6月前半」の回答割合が約3割、次いで「6月後半」が約2割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では「3月以前」や「6月後半」以降の時期の回答割合が高くなっている。また、「4月前半」から「6月前半」の時期の回答割合は低くなっている<sup>97</sup>。

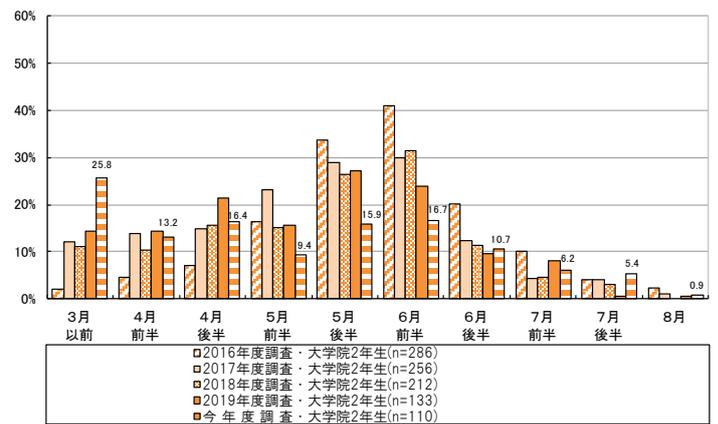
図表 4-7-3 「オワハラ」を受けた時期（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



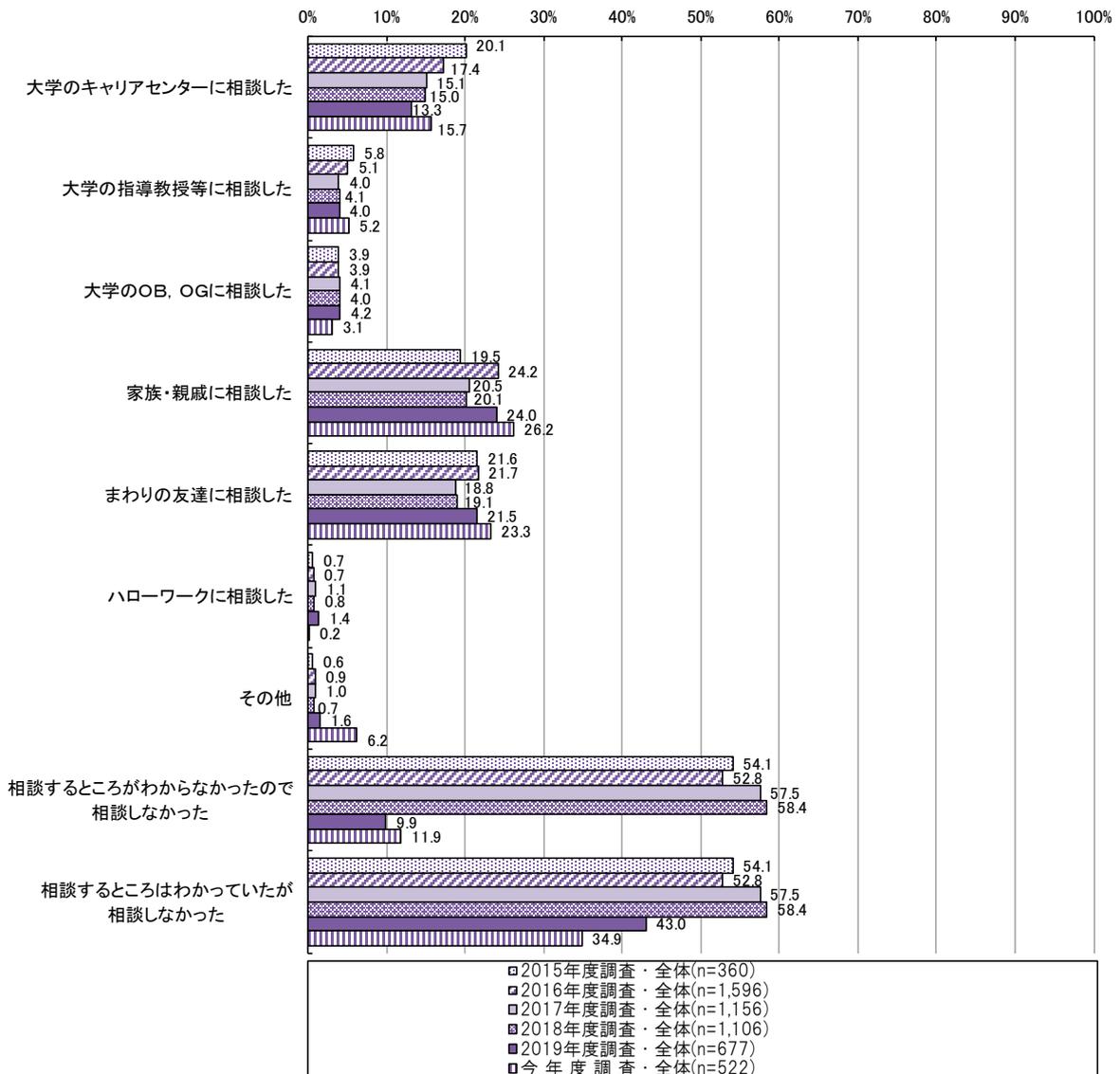
<sup>97</sup> 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

#### ④「オワハラ」への対応

ハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。これは、2019年度調査と比較するといずれも若干高くなっている。

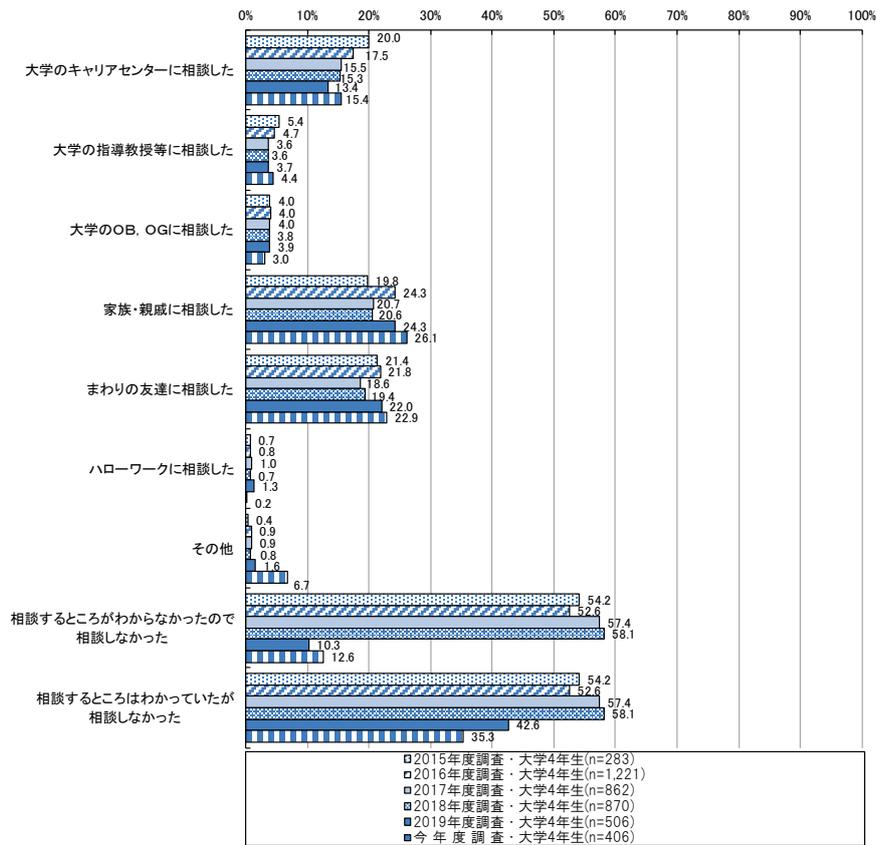
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている<sup>98</sup>。過年度調査と比較すると、2019年度調査との比較において、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の回答割合が低くなっている。

図表 4-7-4 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

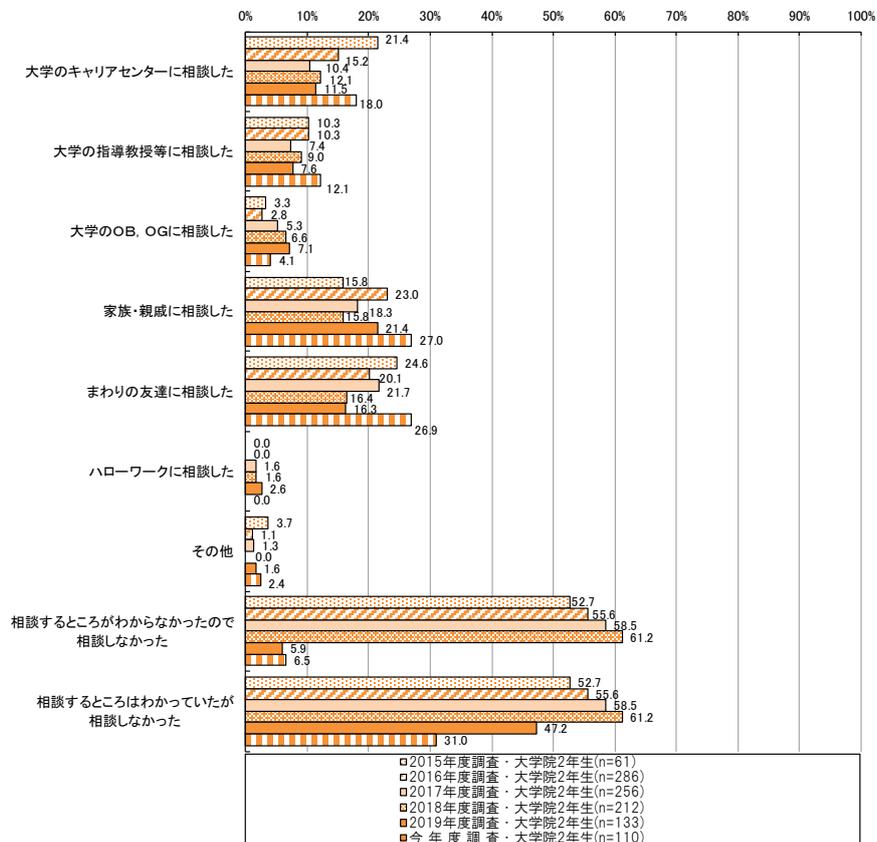


<sup>98</sup> 「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は、2019年度調査以降新たに設けた項目で、2018年度調査以前は単に「相談しなかった」という項目で調査していた。図表4-7-4の2015年度調査～2018年度調査の結果では、「相談しなかった」という項目の回答割合を、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の項目の中で繰り返して掲載している。

(大学4年生)



(大学院2年生)

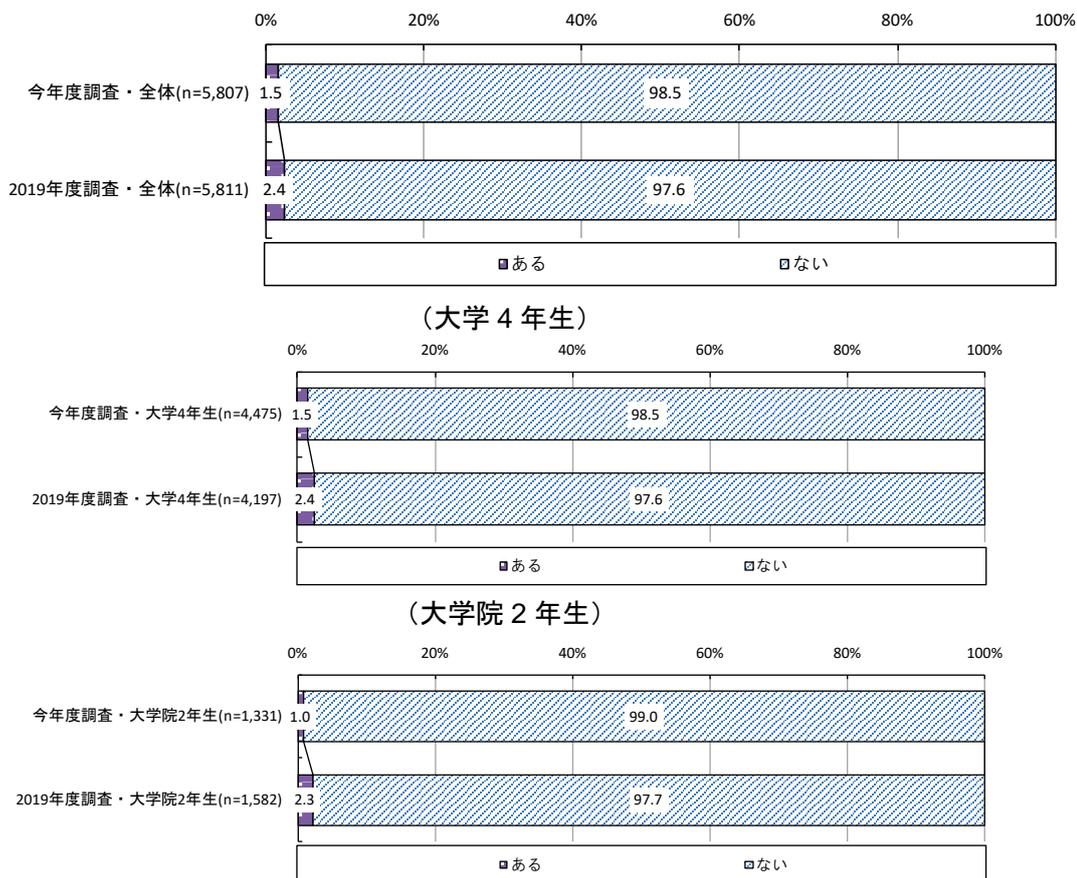


## (8) セクシュアルハラスメントの状況

### ①セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.5%であった<sup>99</sup>。

図表 4-8-1 セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



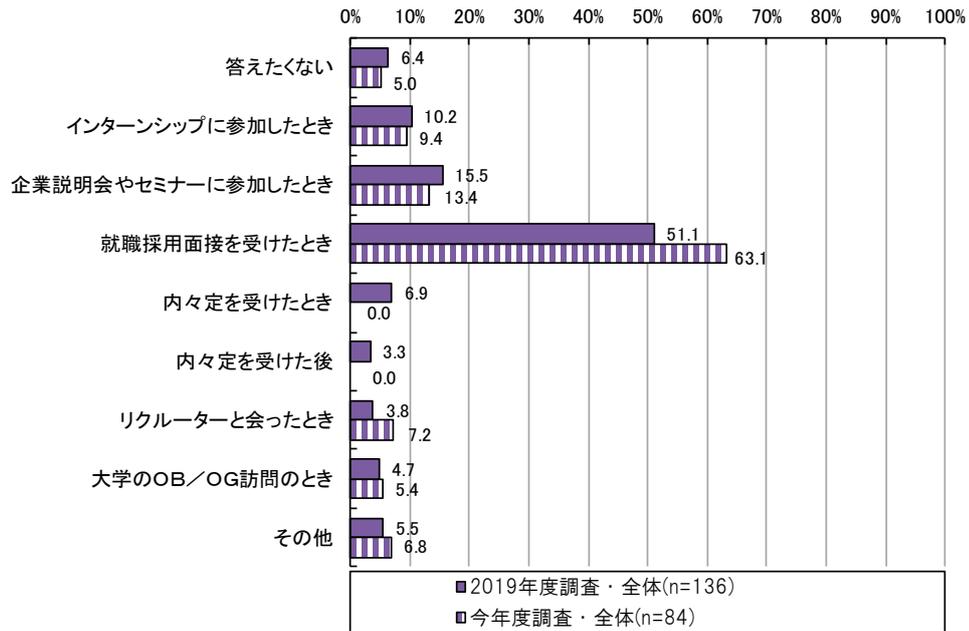
<sup>99</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。(以降のセクシュアルハラスメント行為に関する各設問についても同様)

## ②セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し<sup>100</sup>、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も多く、次いで「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約1割となっている。また、「内々定を受けたとき」「内々定を受けた後」と回答した者はいない結果となっている。

2019年度調査と比較すると、「就職採用面接を受けたとき」の回答割合が高くなっている。

図表 4-8-2 セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



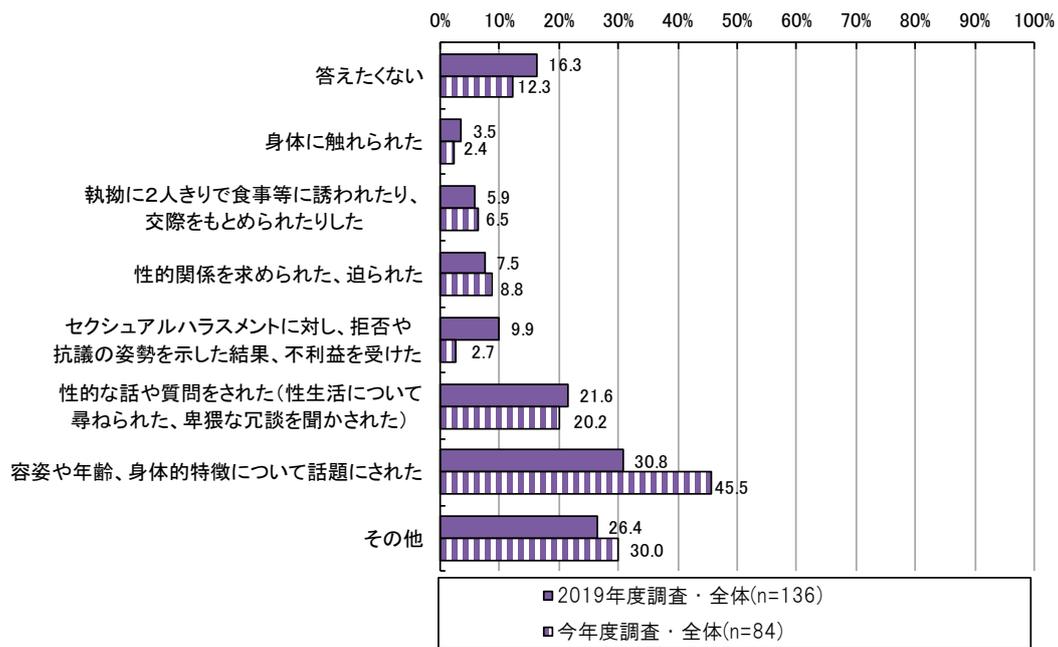
<sup>100</sup> 以降の設問に関してはセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした（アンケート調査の最終の項目とし、当該調査項目に回答しなくても回答終了とすることが可能なように設定をした）。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

### ③セクシュアルハラスメント行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約 5 割、「性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）」が約 2 割となっている。また、「その他」の回答割合も約 3 割となっている。

2019 年度調査と比較すると、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-3 セクシュアルハラスメント行為の内容（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

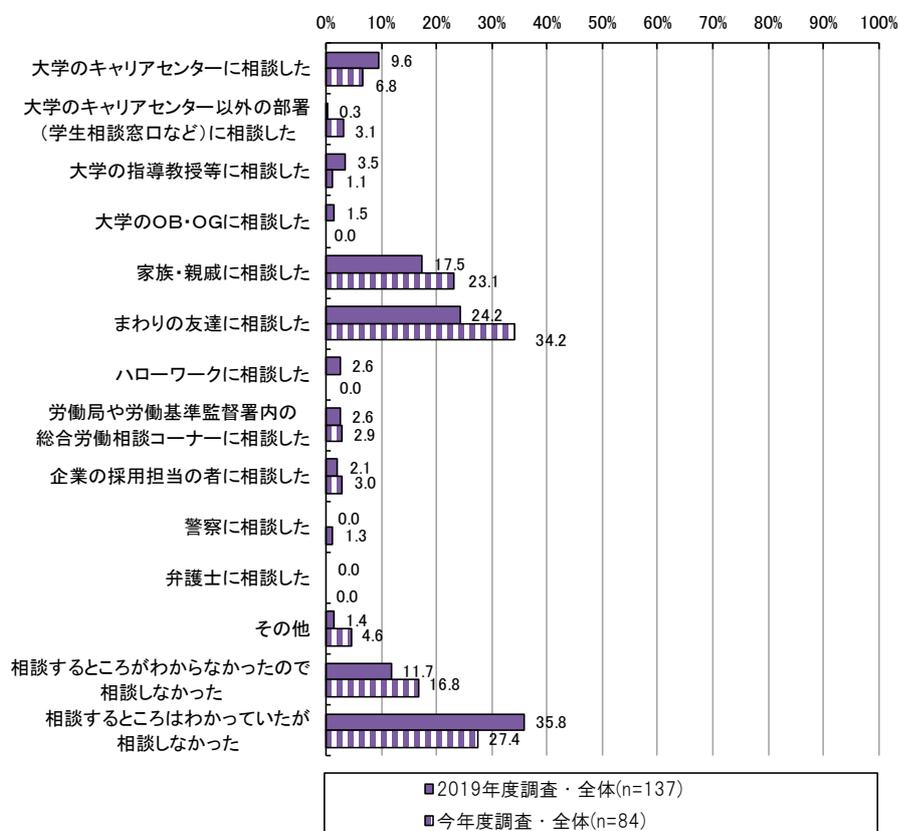


#### ④セクシュアルハラスメント行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」は約2割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」が約3割、「家族・親戚に相談した」が約2割となっている。

2019年度調査と比較すると、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」の回答割合は高くなっているが、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は低くなっている。相談先としては「家族・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」などの項目で回答割合が高くなっている。

図表 4-8-4 セクシュアルハラスメント行為に関する相談（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

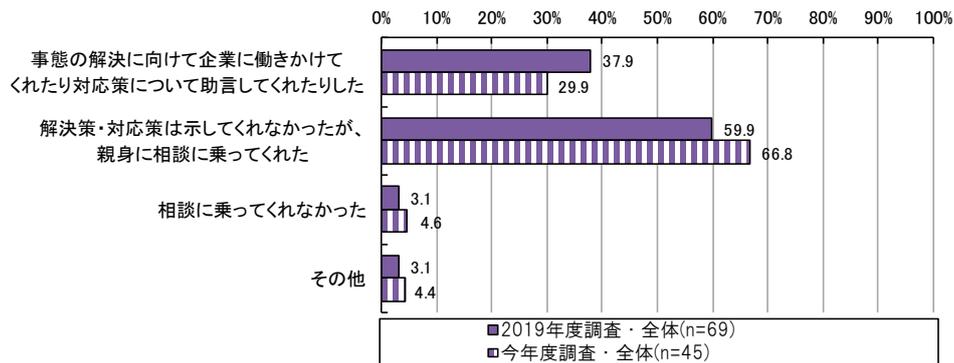


### ⑤セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談したときの対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約 7 割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約 3 割となっている。

2019 年度調査と比較すると、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」の回答割合は低くなり、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」や「相談に乗ってくれなかった」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-5 セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

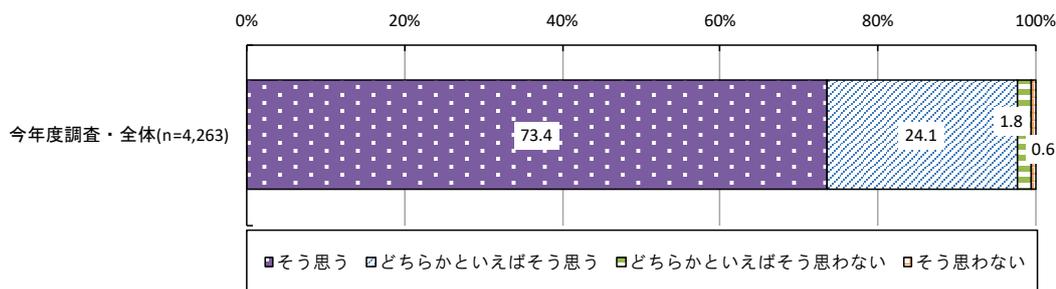


## (9) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

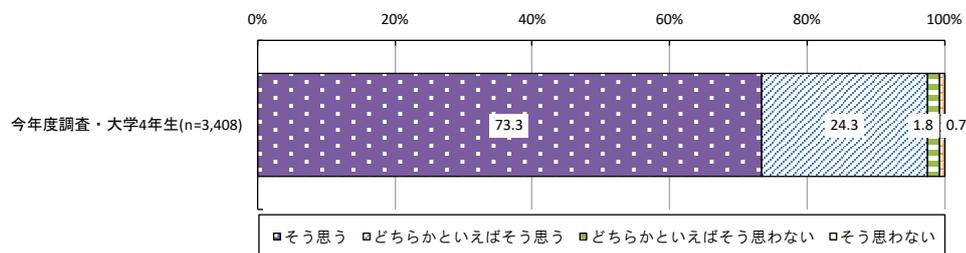
### ① 企業説明会やセミナー等における感染拡大防止の配慮

対面での企業説明会やセミナー等の開催にあたって、出席者へのマスクの着用や手洗いの推奨、アルコール消毒薬の設置、こまめな換気など、感染の拡大防止について企業が配慮していたかについて、「新型コロナウイルス感染症の拡大前の時期の参加であったため、わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」の回答割合が約7割、「どちらかといえばそう思う」と合わせた回答割合が9割以上となっている<sup>101</sup>。

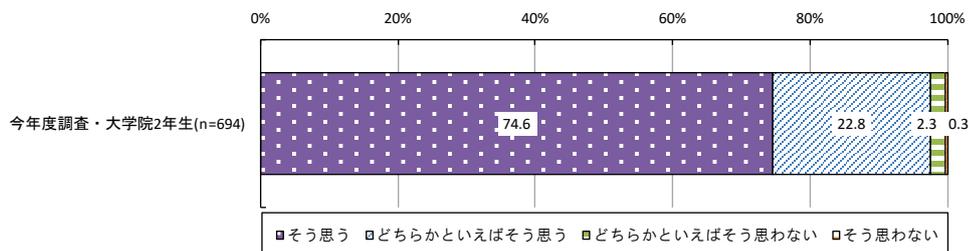
図表 4-9-1 対面での説明会やセミナーにおける企業の感染拡大防止の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

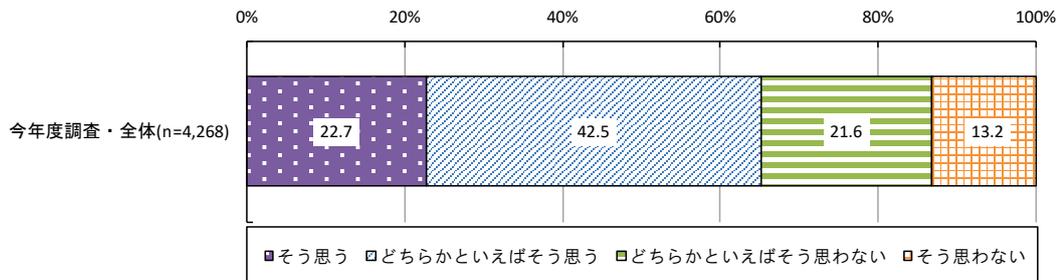


<sup>101</sup> 企業説明会やセミナー等について、「対面のみでの参加」または「対面とウェブ等の両方での参加」に1社以上回答した者のみを集計対象とした。

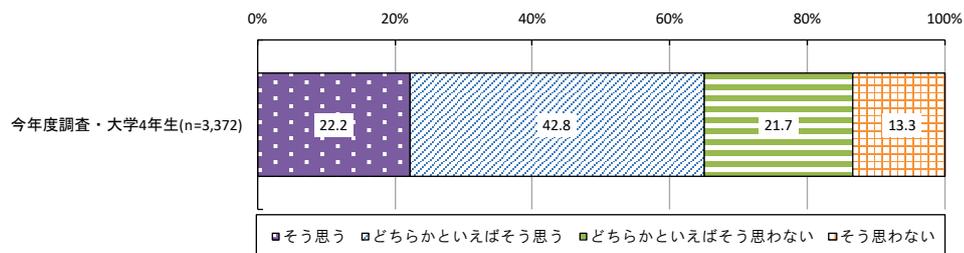
## ②企業説明会やセミナー等の開催時期変更・中止に関する連絡の学生への影響の考慮

企業説明会やセミナー等の開催時期の変更や中止に関する企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>102</sup>。

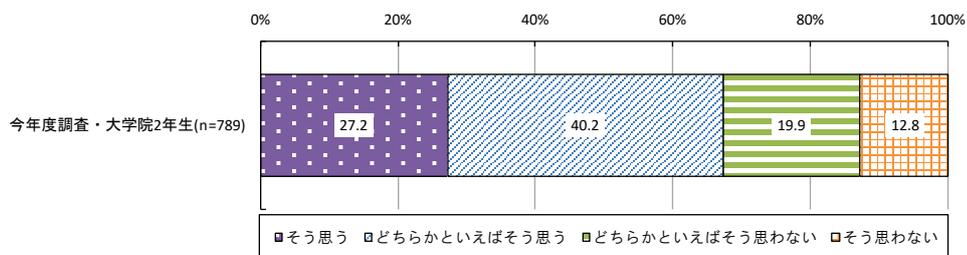
図表 4-9-2 企業説明会やセミナー等の開催時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)

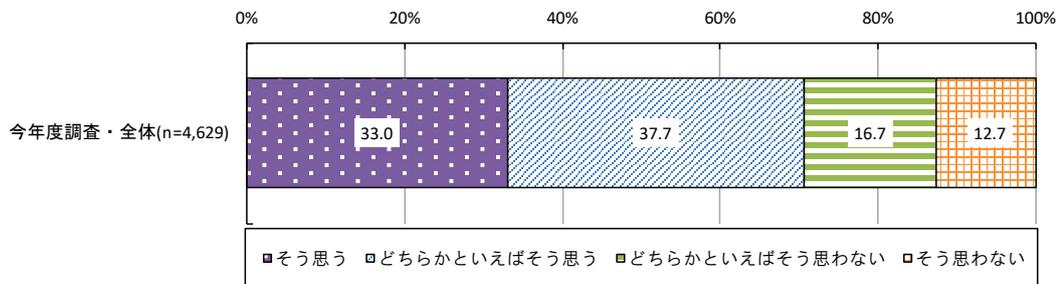


<sup>102</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「開催時期が後ろ倒しに変更された」、または「参加を予定していたが開催が中止になった」企業説明会やセミナー等が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

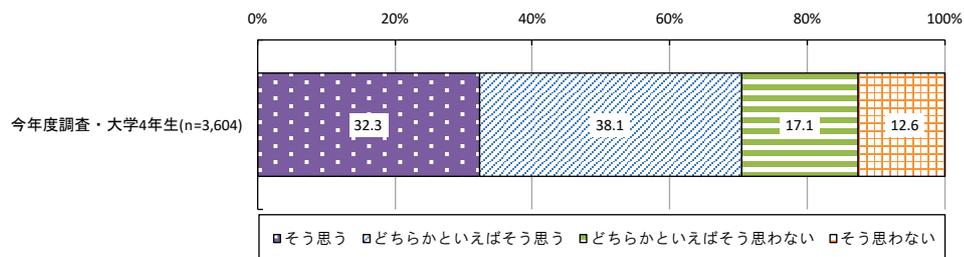
### ③対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明

対面での企業説明会やセミナー等について、参加できなかったことをもってその後の採用選考に影響を与えることはない旨の説明が企業等からされていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている。

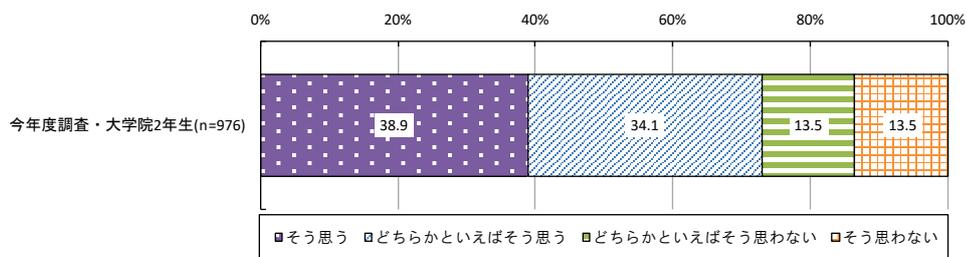
図表 4-9-3 対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



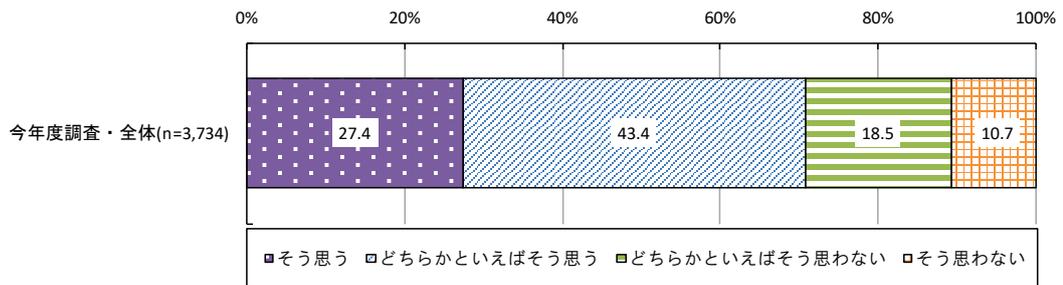
#### (大学院2年生)



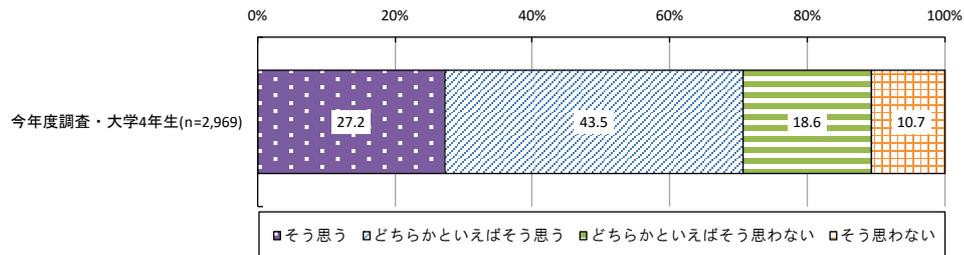
#### ④エントリーシートの受付期間の変更・中止に関する連絡

エントリーシートの受付開始時期の変更や提出期限の延長、中止の企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持っておこなわれるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約 7 割となっている<sup>103</sup>。

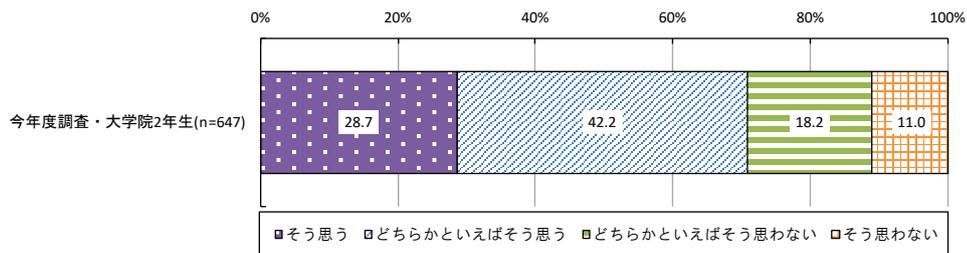
図表 4-9-4 エントリーシートの受付期間に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

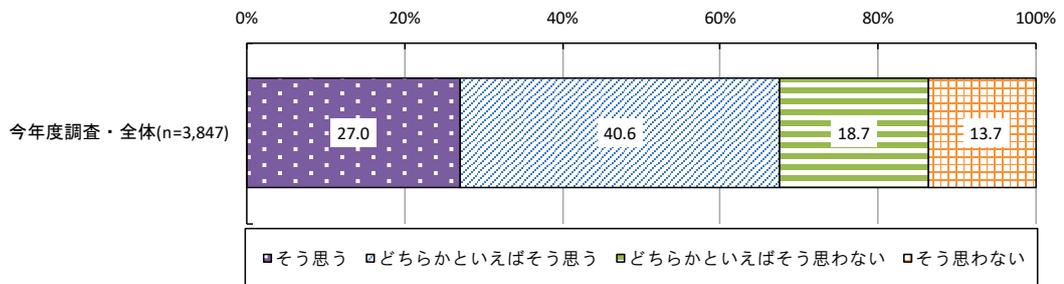


<sup>103</sup> 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、「エントリーシート受付開始時期が後ろ倒しに変更された」、「エントリーシートの提出期限が延長された」、または「エントリーシート提出を予定していたがエントリーの受付が中止になった」企業が1社以上あった者のみを集計対象とした。

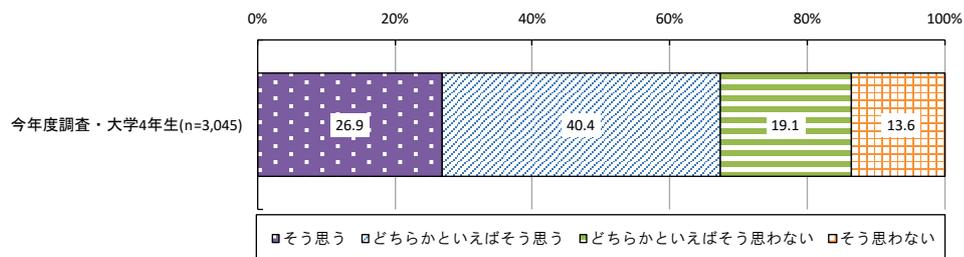
### ⑤採用面接の時期の変更・中止に関する連絡

採用面接の時期を後ろ倒しに変更することや中止の連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>104</sup>。

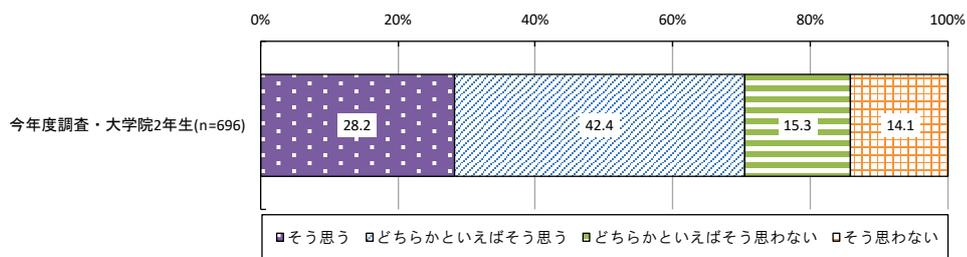
図表 4-9-5 採用面接の時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

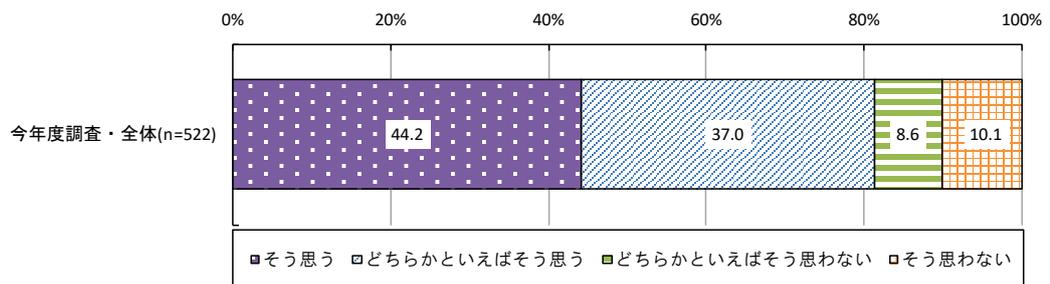


<sup>104</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「実施時期が後ろ倒しに変更された」、または「受けることが予定されていたが中止になった」採用面接が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

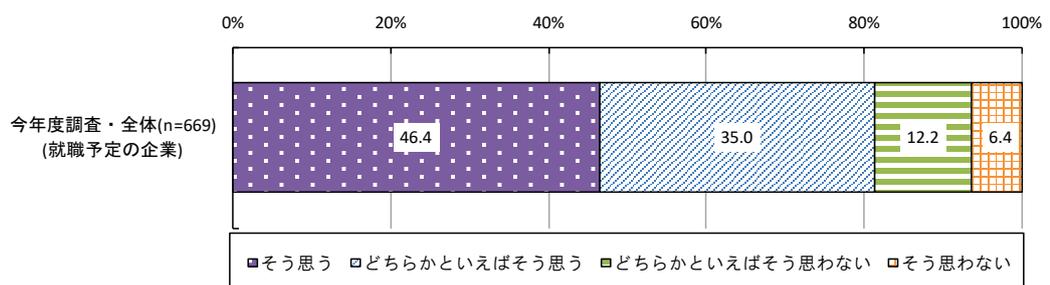
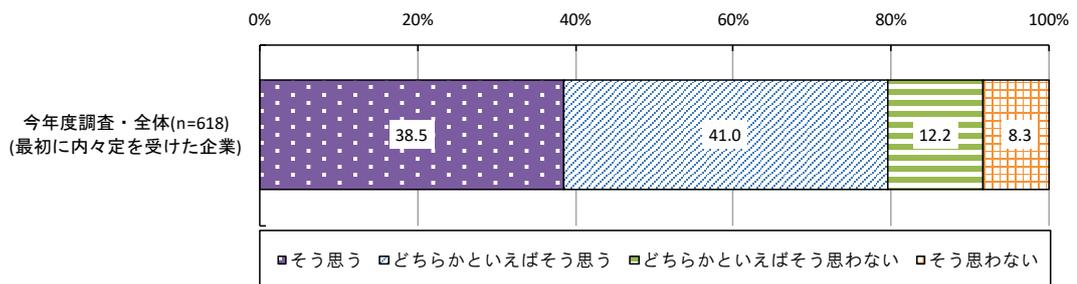
### ⑥内々定の通知時期変更に関する連絡

内々定の通知時期を後ろ倒しに変更することの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者の最初の内々定の企業・就職予定の企業いずれについても、約8割となっている<sup>105</sup>。

図表 4-9-6 内々定の通知時期変更に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)  
<1社から内々定を受けた者>



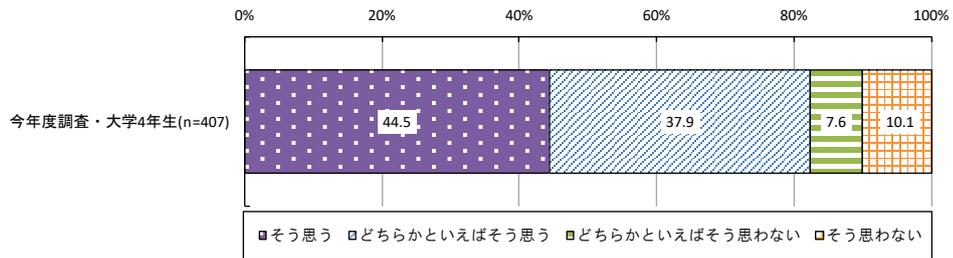
#### <複数社から内々定を受けた者>



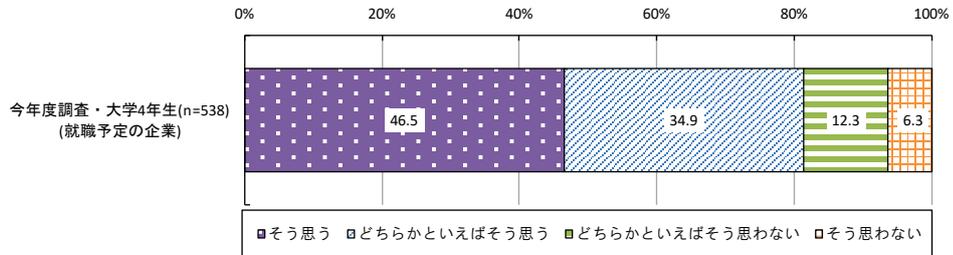
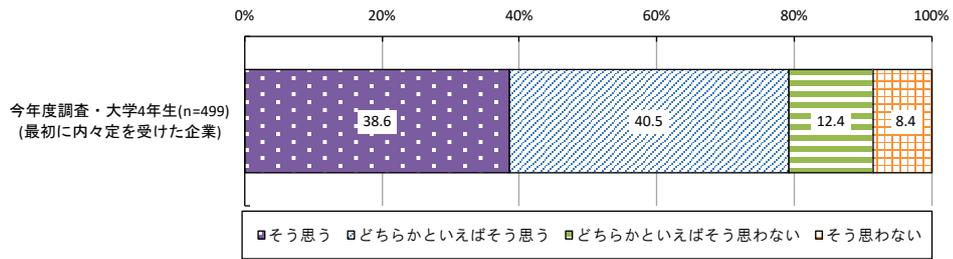
<sup>105</sup> 1社から内々定を受けた者についてはその内々定を受けた時期が、複数社から内々定を受けた者については最初の内々定と就職予定の企業の内々定それぞれを受けた時期が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初企業から案内されていた時期から後ろ倒しに「変更された」と回答した者のみを集計対象とした。

(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

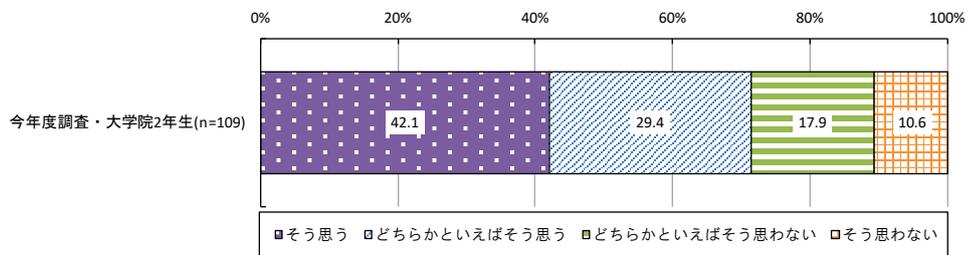


<複数社から内々定を受けた者>



(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

